

30年後の世界へ—

空気はいかに価値化されるべきか

場所: 21KOMCEE East K011 曜限: 金曜 5限

4月7日		ガイダンス
4月14日		花する空気 中島 隆博 (東洋文化研究所/東アジア藝文書院)
4月21日		資本主義と空気の価値～市場・国家・社会的共通資本～ 安田 洋祐 (大阪大学)
4月28日		時間をあたえあう—タンザニアの零細商人の贈与論 小川 さやか (立命館大学)
5月19日		「空気の価値化」を通じて考える「知の価値」 五神 真 (理化学研究所理事長・東京大学前総長)
5月26日		空調メーカーが試行している空気の価値化 香川 謙吉 (ダイキン工業株式会社)
5月29日 ※月曜5限		現代アートにおける空気の可視化 山本 浩貴 (金沢美術工芸大学)
6月9日		建築と空気 川添 善行 (生産技術研究所)
6月16日		ステイクホルダー価値を軸とした企業社会のパラダイムシフトと空気の価値化 坂田 一郎 (工学系研究科)
6月23日		ひとと空気の歴史社会学：空気にも歴史がある 佐藤 健二 (東京大学執行役・副学長)
6月30日 ※オンライン		グローバル・コモンズを守り育むために 石井 菜穂子 (東京大学理事)
7月7日		空気が商品になるとき—炭素税、CCS、ジオエンジニアリング 斎藤 幸平 (総合文化研究科)
7月14日		空気の哲学としての新しいリベラルアーツへ—責任と希望の学問 石井 剛 (総合文化研究科/東アジア藝文書院)

